

令和 7 年度第 1 回高士区地域協議会 次第

日時：令和 7 年 4 月 17 日（木）午後 6 時 30 分～

会場：高士地区公民館 大会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1)報告事項

地域協議会会長会議の概要について

(2)自主的な審議

自主的審議事項について

4 その他

(1) 次回開催日程について

・日時：令和 7 年 月 日（ ）午後 6 時 30 分～

・会場：高士地区公民館

(2) その他

5 閉会

[資料・配布物]

○当日 ・ 次第

- ・資料 1 令和 7 年度高士区地域協議会 自主的審議の進め方（予定）
- ・資料 2 「地域の声を聞く」で聞きたいこと
- ・資料 3 今後の流れについて
- ・資料 4 分科会（子育て・教育、健康・福祉/農林（漁）、商工業・観光/防災・交通）
- ・資料 5 高士区地域協議会分科会グループ（案）
- ・参考 地元関係図（高士区）

～ 地域協議会における会議の心得 5 か条 ～

- その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）
- その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）
- その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）
- その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）
- その 5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

令和7年度高土区地域協議会 自主的審議の進め方（予定）

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日程	第1回 地域協議会	1～2回		2～3回			1～2回		1～2回		1～2回	
内容	地域の声を聞くⅣ	地域の声を聞く		地域の声を聞く			課題の抽出		課題の整理		課題の設定	
実施方法	・3つの分科会に分かれ、課題・確認事項の整理	・確認事項の整理、候補団体の検討		・確認事項を基に、地域団体から話を聞く			・グループワークや全体会を通して、地域協議会としての「地域の課題」を抽出する。		・グループワークや全体会を通して、地域協議会としての「地域の課題」を整理する。		・整理した課題から今後取り組んでいく課題を設定する。	
	委員（個人）の知識の蓄積・考えを形成する			地域協議会（団体）の考えを整理する								

※令和8年度以降、課題解決に向けて協議を進める予定

参考：令和6年度高土区地域協議会 自主的審議の進め方（実績）

協議会	—	—	第1回 ・協議会に関する諸事項の確認	第2回 ・申し送り事項 ・自主的審議の進め方（スケジュール） ・地域独自の予算 ・地域自治推進プロジェクトの検討状況等	第3回 ・新保育園建設候補地の決定について ・ファシリテーション研修の概要							
委員研修	—	—			① フリーディスカッションⅠ	② フリーディスカッションⅡ	③ 地域を知るⅠ	④ 地域を知るⅡ	⑤ 地域を知るⅢ	⑥ 地域の声を聞くⅠ	⑦ 地域の声を聞くⅡ	⑧ 地域の声を聞くⅢ

○「地域の声を聞く」で聞きたいこと

資料2

気になること	子育て・教育		福祉		農林（漁）		商工業・観光		防災・交通	
		団体		団体		団体		団体		団体
	小・中学校		高齢者支援		用水路		観光		交通	
	・ 小学校や保育園の登下校の送迎など、学校生活について不安なこと	・ 小学校 ・ 保育園の保護者 ・ 子育て世代	・ 高齢者のみ世帯では、ストーブに灯油を入れる作業は、どうしているのか	・ 町内会	・ 南方地区は、坊ヶ池の用水を使用、櫛池川から取水しているので、用水路について話を聞きたい	・ 関川水系土地改良区 ・ 櫛池川の推進活動団体	・ 岩の原葡萄園について聞いてみたい	・ 岩の原葡萄園	・ バスなどの公共交通機関が今後どうなっていくのか聞きたい（牧だとオンデマンドのような形で交通体系ができていると聞いたことがある）	・ 行政（交通政策課）
	・ 保護者が 周りとコミュニケーションを取る機会 はあるのか	・ 小学校 ・ 保育園の保護者 ・ 子育て世代	・ 高齢者のみ世帯に対する 町内の見守り の状況	・ 町内会	・ 櫛池川の辺りの雑草がひどく、野生動物もいるので、田畑へ被害が出る可能性について知りたい	・ 関川水系土地改良区 ・ 櫛池川の推進活動団体	・ 土地はあるが、観光の売りとなるようなものがなく、岩の原葡萄園などがあっても市のバックアップが足りていない	・ 行政（観光振興課）	・ 新幹線が通っているので、その活用方法はないか聞きたい	・ 行政（交通政策課）
	・ 保護者の負担について（制服や送迎など）	・ 中学校の保護者	・ すこやかサロン等の活動内容 と参加の基準（年齢など）	・ 行政（高齢者支援課） ・ 高士地区振興協議会	農業		イベント		・ 新井柿崎線の拡幅状況について知りたい	・ 行政（道路課）
	・ 高士小の児童数の減少について、地域の人はどうに感じているのか	・ 町内会	・ すこやかサロンの人数が増えていると聞いたが、現在の参加人数と、70～80歳の方がどれくらい参加しているのか	・ 高士地区振興協議会	・ 畑の減少は、農業者が減っているからなので、楽しく農業できるような発想はないか	・ 行政（農政課）	・ 農業体験ツアーの実施（田植え、稲刈り後おにぎりをふるまうなど）のイベントはあるのか。あれば、継続して開催する工夫はあるか	・ 大規模農家 ・ 龍水みなみがた		
					・ 農林業に人が増えないのはなぜなのか	・ 行政（農政課）	・ イベントを開催する際の駐車場や宿泊施設が観光客を呼べる状態になっているのか	・ イベント主催者	・ 高齢者やひとり暮らしで連絡の取りづらい方の避難はどうしているのか聞きたい	・ 町内会
	子供会		・ すこやかサロンや福祉施設の認知度はどれくらいあるのか	・ 高士地区振興協議会	・ 米のほかに作られている農作物について	・ 生産組合等	・ 高士ルミネの規模を大きくしてきた半面、運営での課題も増え、今後どうすべきか検討している	・ 活動団体	・ 防災時のひとり暮らしや病弱というような情報をマップにしていると聞いたことがあるが、個人情報の関係で住民へ伝わっていない	・ 防災士会
	・ 各町内会の子供会の活動状況 や数	・ 子供会 ・ イベント開催団体								
	・ イベント開催時の参加者数や案内方法	・ 子供会 ・ イベント開催した団体	老人会		・ 米不足について、大規模農家の人に、出荷先を確認したい（米が穫れているのになぜ値段が高いのか）	・ 大規模農家 ・ JA			・ 水害や地震があまりないが、山林があり、乾燥する時期は火事が危ないように感じるが、そういった点について聞きたい	・ 防災防犯協会
	・ 子供が参加できる行事や趣味、スポーツ はどのようなものがあるのか	・ 子供会 ・ 子育て世代	・ 老人会のない町内会では、 高齢者がコミュニケーションをとる機会 はあるのか		・ 町内会	・ 農家 ・ あるるん畑			・ 普段から 顔を合わせる ことで、 仲間意識 が芽生えたと考えるが、そういった機会はあるのか知りたい	・ 町内会
子育て支援		福祉サービス		農家・担い手		防災訓練				
・ 現在、どのような公的支援があるのか	・ 行政（教育委員会、幼児保育課、子ども家庭センター等）	・ セブンイレブン号の導入について、地域ではどういった反応があるか	・ 利用町内 ・ セブンイレブン	・ 高齢化により若者が減少している。 農業後継者の育成や成り手 についてどのように考えているのか	・ 大規模農家 ・ 行政（農政課）					・ 他の町内での防災訓練について知りたい（実施方法など）
・ 仕事と子育ての両立をどのようにしていくか	・ 行政（教育委員会、幼児保育課、子ども家庭センター等）	・ イベント開催などをどのように周知しているのか	・ 高士地区振興協議会	・ 今後の高士地区の田んぼの状況、整地、AIや自動化など、スマート農業について聞きたい	・ 大規模農家 ・ 行政（農政課） ・ 法人、組合		・ 防災訓練をする際、町内の避難所に集合してから小学校へ移動するが、実際に災害が起きたらそこまで行けないため、そういったことを検討しているか知りたい	・ 町内会		
・ 20～30代の女性が地域から出ていくところが多いと聞いたが、女性が住みやすい環境づくりについて知りたい	・ 住民	・ 高士区の福祉に関する 団体や活動状況	・ 高士地区振興協議会など活動団体 ・ 公民館運営委員会	・ 専業農家は何軒あるのか	・ 生産組合等		・ 高士分遣所から見た高士地区についてや日々の活動、住民にやってほしいことなどについて聞きたい	・ 高士分遣所		
		・ 健康づくりや コミュニケーションがとれる活動 はどのようなものがあるか	・ 高士地区振興協議会など活動団体 ・ 公民館運営委員会	・ 農家が困っている事や農家の魅力やメリット	・ 生産組合等					
		・ 取組内容などについて聞きたい		・ 社会福祉協議会						

	子育て・教育		福祉		農林（漁）		商工業・観光		防災・交通	
		団体		団体		団体		団体		団体
課題	・雄志中は高士区から遠く、車やバスでの送迎が必須になることもある。送迎できる同居人がいない場合は特に大変。		・医療の送迎、買物、地域のイベントへの参加など移動手段がない人がいる。こういった方にも参加してもらえるように行政の支援を受けながら盛り上げる必要がある		・今後の農地改革について、若者に期待したいが、若者自体が減少している		・高士の経営母体的に法人、会社、個人で経営している所がどのぐらいの割合であるのか。会社的に人手が無い		・道の除雪について、ひどいところもあり、改善できないか	
	・仕事と子育ての両立をどうしていくか（学校は17時までしかいることができず、迎えに行けない保護者もいる）				・稲谷は、ほ場整備が令和8年度ぐらいから面工事に入る。畑作を全体の2割作るのが必須で、稲谷は約7町歩ぐらい畑作をやらなければならない		・気楽に行ける飲食店がない			
	・子どもの頃から高士の歴史や良さを一緒に学んだ方が良い、川上善兵衛は役に立つ生き方。									
提案	・高士にもいいところが多く、お互いに話し合いをして、まずは家族単位で話し、それから地域へ広げる →会話のきっかけになるような親子で一緒にやるイベントをする（カラオケ大会やeスポーツなど）		・有線放送がなくなり、リアルタイムの情報発信ができなくなった→HPの開設や各団体の会報の利用		・田植え体験（稲刈り込み）や地吹雪体験などここでしかできない体験をしてもらい、空き家になっているところを施設にして、食べる・泊まれるというようなところにした		・地域行事やイベントを1ポイント100円というようなポイント制にして、地域内で還元できるような仕組みを作る		・高士地区住民福祉会が災害時に高齢者、障害者を避難させる	
	・居場所づくりという中で駄菓子屋やカフェ、子どもが遊べるような場所が一緒になった施設があれば、何らかの交流ができるのではない		・空き家の草刈りなどを隣の家がやっていると聞いたことがあるが、それを地域でできないのか		・直売場を作ったらどうか		・「地域の宝」認定の団体を深掘して紹介してはどうか		・高士スポーツ広場などで、炊き出しを行うことで語り合いの場を作る	
	・子供たちから10～20年後の高士についてどう思っているのかを聞き、子どもの発想を活用できないか				・小学生たちと空き地を活用したブドウ栽培する。善兵衛学習を受けたことを活かして。（川上善兵衛が高士地区全戸にぶどうの苗を配ったのとこと）		・地域内にあるお店などでコラボなどはできないか（明照寺と上越酒造など）			
							・高士小学校や高士スポーツ広場で雪国の普段の遊びを紹介してはどうか			
							・高士の食文化を郷土料理としてふるまうようなイベントは開催できないか			
							・イベント開催時の公共の交通手段がなく、送迎などを充実させられれば、参加者も増えるのではない			

今ここ

① 確認事項の整理
分野

○課題、提案

--

→

○団体へ確認したいこと

--

○候補団体等

--

--

→

--

--

② 各団体へ確認



③ 確認事項を見ながら改めて課題整理



④ 課題（テーマ）設定、協議

○課題

人口減少 ・高士地区の人口減少が顕著であることを、地域全体で受け止め、今後の高士地区について考えるべき ・20～30代の女性が地域から出て戻らないことが大きな要因
--

子育て（保護者） ・中学校区が広く送迎が必要。中学校は17時迄しか滞在できないが、迎えに行けない。 ・保育園や小学校の統合も見据えた場合、送迎や制服などにかかる負担の発生が懸念される。 ・サポートしてくれる同居家族がいない子育て世代は、子育て相談の場が必要。

教育（子ども） ・少子化ではあるが、地域で子供に向けた事業の開催や部活への参加、塾通いの機会を十分に与えるべき ・子どもの頃から高士の歴史や偉人について学び、誇りを持つべき

高齢化 ・移動手段がない、作業が困難な高齢者のみ世帯の生活の見守りと支援が必要

健康 ・すこやかサロンの参加者が多い

情報 ・福祉施設や介護サービスに関する情報が不足している ・各団体の活動状況等を知りたい ・どのように情報を入手してよいかわからない
--

コミュニティ ・高齢者が日常でコミュニケーションをとれる場が大切
--

--

○団体へ確認したいこと

・高士小の児童数の減少について、地域の人はどうに感じているのか
・女性が住みやすくなる環境づくり

・保育園や学校の登下校の送迎、制服購入などの保護者の負担感 ・進学や統合による新たな学校生活について不安なこと ・仕事と子育ての両立の工夫 ・保護者が周囲とコミュニケーションをとれる機会
・どのような公的支援があるか

・町内会の子供会の活動状況や開催回数 ・子供が参加できる行事や趣味、スポーツ ・イベント開催時の参加者数や案内方法
・部活動の参加や塾での学習の必要性と機会の確保
・郷土の歴史や偉人に関して学ぶ機会

※高齢者のみ世帯 ・買い物や通院等の移動手段はどのように確保しているか（支援があるか） ・除雪や灯油の給油など、体力を使う作業はどのようにしているか（支援があるか）
・見守りなどの取組や制度があるか
・セブン-イレブン号の導入に関する地域の反応

・サロンの活動状況と参加状況、参加の基準（年齢など） ・現在の参加人数と、70～80歳代の参加割合 ・すこやかサロンや福祉施設の認知度 ・参加者確保のための工夫

・福祉施設や介護サービスの情報収集の手段 ・社会福祉協議会の取組内容 ・高士地区振興協議会の事業周知方法 ・高士区内の福祉活動団体（リスト）、活動内容
--

・老人会のある町内はどのくらいか、どのような活動があるか ・老人会以外に高齢者がコミュニケーションをとる機会はあるか

--

○候補団体等

・町内会 ・高士地区振興協議会
・住民

・小中学校PTA（保護者）
・行政

・子供会 ・町内会
・保護者
・小学校 ・公民館

・高齢者のみ世帯
・高士地区振興協議会 ・高士地区住民福祉会 ・町内会 ・行政
・セブンイレブン ・利用者

・高士地区振興協議会

・社会福祉協議会 ・高士地区振興協議会

・町内会

--

○課題

○高土区の農家の現状

○団体へ確認したいこと

→
・米の価格の仕組みと今期の高騰の理由
・専業農家の件数
・農家自身が感じている課題と魅力
・米のほかに作られている農作物
・高土地区で法人、会社、個人で経営で農業を行っている割合
・あるるん畑の活用状況

○候補団体等

・生産組合
・農家
・ＪＡ

○農業者の減少

・高齢化による後継者不足
・若手の農業離れによる担い手不足
・魅力を感じる農業の確立

→
・農業後継者の育成や成り手、担い手確保
・今後の高土地区の田んぼの状況、整地、AIや自動化など、スマート農業の導入状況
・楽しく魅力ある農業ができるような発想
・農業体験ツアーなどのイベントの実施状況

・行政
・農家
・生産組合
・農家
・ＪＡ

○ほ場整備

・全体の2割での畑作が必須

・どのような作物を作るべきか

・生産組合
・農家
・ＪＡ

○用水、鳥獣害対策

・地域の水田が取水している用水について学ぶ
・櫛池川の辺りの雑草がひどく、野生動物もいるため危険

→
・上江用水、坊ヶ池の用水、櫛池川など、高土地区に昔からある各用水路
・環境整備や鳥獣による田畑への被害、影響

・関川水系土地改良区
・用水組合

○観光

・地域に観光の売りとなるようなものがない
・高土ルミネは事業規模を大きくしてきた半面、周知エリア、人手確保など今後の運営の課題も増えている

→
・岩の原葡萄園の取組状況
・行政のバックアップ
・高土ルミネでの駐車場や宿泊施設の確保などの観光客を迎える体制

・岩の原葡萄園
・行政
・実行委員会

→

→

防災・交通

○課題

○**高齢者の避難対応**
・高齢者のみ世帯等、要支援者の避難支援について、「個人情報保護」の壁が高く、地域で助け合いたくても情報が得られない

→

○団体へ確認したいこと

・高齢者のみ世帯など連絡の取りづらい方の避難誘導
・要支援者情報マップの周知状況

○候補団体等

・高士地区住民福祉会
・町内会
・防災士会

○災害対応

・地震、津波で被災する可能性は低いが、山林火災の可能性がある
・地域で予定しているとおりに行動できない場合の対応

→

・近隣の山林の危険度や注意事項
・避難場所へ実際移動できない場合の対応
・リアルタイムの情報発信網

・町内会
・防災防犯協会
・高士分遣所

○防災訓練

・

→

・仲間意識を深めるための顔合わせの機会の設定
・各町内での防災訓練実施状況

・住民が日々実施すべきこと、備えるべきこと

・町内会

・高士分遣所

○公共交通サービス

・

→

・オンデマンドバスなど、公共交通機関のサービス状況
・北陸新幹線と上沼道の商工業での活用方法

・行政

○道路の維持管理

・地域の主要なライフラインである道路が狭い、除雪状況が悪いなど、危険と不便が伴う

→

・新井柿崎線の拡幅状況
・道路除雪の改善

・行政

→

→

高士区地域協議会分科会グループ（案）

資料5

グループ	グループリーダー (ファシリテーター)	会場 (入口から見て)
子育て・教育・福祉	高橋会長	大会議室 右
農林（漁）・商工業・観光	日向副会長	大会議室 中央
防災・交通	上野副会長	大会議室 左

	氏名（敬称略）	カナ	子育て・教育・福祉	農林、商工業・観光	防災・交通
1	上野 秀平	ウエノ シュウヘイ			○
2	上野 美奈子	ウエノ ミナコ		○	
3	塩尻 信幸	シオジリ ノブユキ		○	
4	高橋 清司	タカハシ キヨシ	○		
5	田中 利夫	タナカ トシオ			○
6	塚田 幸一	ツカダ コウイチ	○		
7	塚田 誠	ツカダ マコト		○	
8	馬場 節子	ババ セツコ	○		
9	日向 こずえ	ヒナタ コズエ		○	
10	保坂 治	ホサカ オサム			○
11	山口 一男	ヤマグチ カズオ			○
12	山本 優子	ヤマモト ユウコ	○		